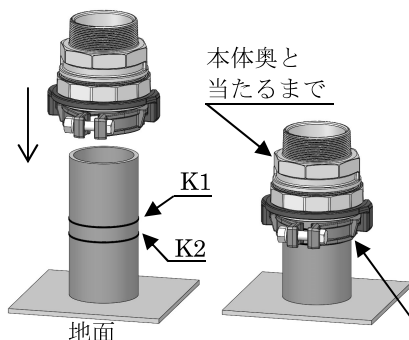


SKX®（中口径） 施工手順（給水栓立上り部専用）

【おねじ付ソケット、めねじ付ソケット使用】

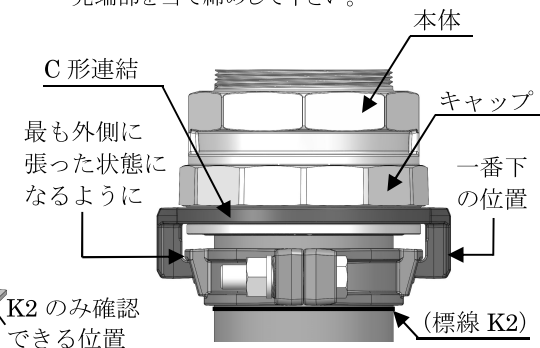
①パイプ挿入量記入

パイプに2本の標線(K1、K2)を記入し、分解せずパイプに挿入し、継手の奥にパイプが当たるまで挿し込んで下さい。
(K1が見えず、K2のみ見える位置まで)



③ストップリング本締め

C形連結を中心方向に押えながら、ストップリングを締めやすい位置にして下さい。
ストップリングを一番下にした位置でストップリング先端部を当て締めして下さい。



注1) ・パイプ切断時は管軸に直角になるよう切断してください。
・パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。
・滑剤の塗布は不要です。

注2) キャップ内のゴムパッキンに付いているテフロフィルムは絶対に外さないでください。

注3) ストップリングは当て締め後、さらに締め付けると破損などの不具合が生じることがあります。

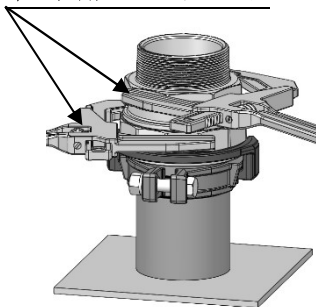
注4) 管とストップリングが直角になるように締め付けて下さい。

注5) 再施工時は再施工手順に従って下さい。(裏面参照)

②キャップ本締め

キャップを手締めして仮固定した後、中口径用ショートレンチでキャップを当て締めして下さい。

中口径用ショートレンチ



④施工完了

キャップとストップリングの締め忘れのないように確認を行って下さい。

- ・キャップが本体と接触していること。
- ・ストップリングの先端部が接触していること。

＜管の取り外し＞

- ・ストップリング締付ナットとキャップを緩めるだけで管と分離可能です。(分解不要)

管 呼び 径	標線		塩ビ管用				鋼管用				六角 対辺		
	K1	K2	SR 呼び径 (紺)	キャップ 〔参考締付トルク〕 N・m	ストップリング 〔参考締付トルク〕 N・m	SR 呼び径 (黒)	キャップ 〔参考締付トルク〕 N・m	ストップリング 〔参考締付トルク〕 N・m					
65	80	100	V65	当て 締め	(30)	当て 締め	(25)	65	当て 締め	(50)	当て 締め	(35)	19
75	85	105	V75		(45)		(20)	75		(60)		(35)	
100	90	110	V100		(70)		(35)	100		(90)		(55)	

再施工手順

※ 再施工時の注意点

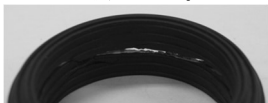
① ゴムパッキンの状態確認

以下の項目に当てはまる場合は、ゴムパッキンを交換してください。

1、テフロンフィルムワッシャが破れている。



2、ゴムパッキンが破損している。



3、ゴムパッキンが永久変形・硬化している。

② ストップリング締付ボルト・ナットの状態確認

以下の項目に当てはまる場合は、ボルト・ナットを交換してください。

1、ネジ山がつぶれている。

2、ボルトが曲がっている。

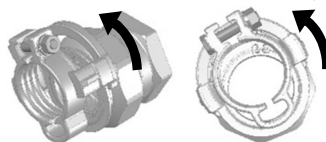


3、ボルト・ナットの再利用は5回程度。

SKXストップリング（SR）交換手順

① C形連結取り外し

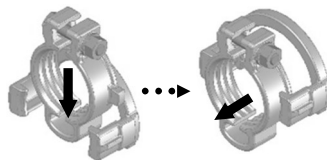
C形連結の一方を支点とし、他方をプライヤー等で回し、取り外す。



③ ストップリング交換

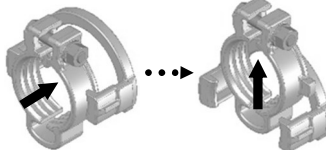
適用管用SRとC形連結を合わせ、SRを下方向に入れ、C形連結から離す。

※右図のように、ボルト・ナットを上にして、向きが逆にならないように注意する。



② ストップリング取り外し

SRとC形連結を合わせ、SRを上方向に抜く。



④ C形連結取付

C形連結をキャップの外溝に合わせて、C形連結上部を木槌等で軽く叩いて入れ、完了。

